

～コロナ感染拡大の中で～ 職場の声

8月に第5波の急速な感染爆発が起き必要な医療が提供できず、自宅療養者は全国で9月1日現在13万人を超えるとも言われ、入院できず自宅で亡くなる人が出ています。自分の身は自分で守れというかのように、人の命が大事にされない世になってしまったのかと悲観的になります。救える命が救えないという非常事態です。

病棟で毎日コロナ患者と関わるスタッフは不安だらけです。ワクチンを接種していても感染するブレイクスルー感染や様々な変異株、未知な情報もあり暴露感染や急変のリスクと向き合う日々で、緊張感がとても強い中で働いています。小さな子供や、高齢・持病のある家族と同居していると、自分が感染し家族にうつしたらという不安を常に抱えています。

これらの不安を少しでも軽減できるような対策を希望します。

具体的には、

- ・希望するスタッフへのPCR検査
- ・勤務後シャワーを浴びて帰れる環境整備
- ・コロナ陽性患者と濃厚に関わる職員への手当増額などを検討してもらいたいと切に願います。



労働組合では今、コロナ患者受け入れ病棟のスタッフの意見を聞き、要求をまとめていきます。

◆夜勤を考える会へのお誘い◆

日時：9/16(木) 18:00～20:00

◎組合事務所(ZOOM併用)

看護の夜勤体制やコロナ対応の中看護の現状について、みんなで考えましょう。どなたでも気軽に参加できます。



🌳 集まれ大学の森 🌳 企画スタート！

他の病院の看護師はどんな環境で働いているのかしら？ そう思ったことはありませんか？
他病院の労働組合員との交流会、その名も「集まれ大学部会の森」が先日、リモートでようやく開催できました。

杏林大学の HCU で働くベテランナースマンから、コロナ事情、勤務形態などねほりはほりお聞きしましたよ。どのお話も新鮮で感心するものばかり！特に面白かったのは、看護師がペアを組んで互いに補完し協力し合い患者を受け持つ、PNS（パートナーシップナーシングシステム）という看護方式です。興味のある方、是非調べてみてください。



お互いの職場環境を聞けて、大変勉強になりましたし、非常に有意義な交流会でした。次回も予定していますので、興味のある方は組合にご一報ください！

◆コロナに関連する休みについて確認しましょう！

新型コロナ感染爆発により、職員や職員の周りでもコロナの感染が身近なものとなっています。子どもたちの感染も増えており、学校や保育園で休校、休園が増えています。休校、休園により仕事を休まざるをえない専任職員・嘱託職員等の場合、(在宅)勤務扱いとなります。他にも様々なケースがあると思います。管理職に確認し不明な点は、労働組合にお尋ねください。

※労働組合は職員全員にコロナ関連の休みの取扱いを周知するよう人事に要請しています。



◆役員募集中！



◆四谷支部定期大会を開催します

日時：9月30日(木) 17:30~19:00

会場：孝養舎 405 教室

※ZOOM 併用で行います

労働組合の一年間の振り返りをします。

自分の職場の環境は？賃金は？などの疑問や改善したいことを出し合います。

組合加入届

※組合へは専任・非専任問わず、加入できます。組合への加入をご希望の方は、下記にご記入後、切り取り、慶應義塾労働組合 四谷支部まで封内便にてご送付ください(組合紹介パンフを希望の方は、k-yotsuya@keio-union.or.jpにご連絡ください)。

フリガ	記入日：20 年 月 日	職員番号：	職場名：
氏名	生年月日： 年 月 日	職員・看護師 (いづれかに○を)	
メールアドレス			